

令和5年度 JRC部 年間活動計画

部員数	24名
顧問	片岡初美・花岡和彦
方針・目標	方針：『気づき・考え・実行する』 テーマ：Original Style in 雲南 ～広げる『健康』繋げる『命』～ ●何にでもチャレンジしながら、地域のニーズ（必要とされていること）をすべて自分たちで“気づき”“考え”“実行する” ●そのためにまず自分が資格をとり確実な知識とノウハウを身につけておく。
通常活動日	月・木・（地域行事や大会直前は随時）
通常休養日	火・水・木・土・日・（地域行事や大会直前は随時） 自分で気づき・考え・実行する“チョボボ”（ちょっとボランティア）は任意
通常活動時間	平日 18:00まで 行事日 随時
通常活動場所	雲南ラボ室・2A演習室・地域各所

年間活動予定

月	活動計画（参加大会等）	その他・研修会等
通年	<p>※ すべて自分たちで決めて、チャレンジしてみる</p> <p>●目的は「毎日全員がもれなく昼食を食べられるように」 R2年度から取り組み始め1年半かけてやっと実現した「昼食校内販売」を、今後も生徒会（全校生徒）ボランティア・地域店舗と一緒に無理なく継続・定着させる。</p> <p>●募金活動、資格取得、高齢者・乳幼児・障がい者支援研修と交流 ・保育園児交流・高齢者交流・エコリサイクル活動・緊急時に身を守るワザ・地元3つの福祉施設と三刀屋高校生と3つの支援地域を結ぶ333つながるプロジェクト・命と健康と平和をテーマに永井隆博士プロジェクト・梅でつながる魅力発信・交流プロジェクトなど</p>	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・AEDドラマシミュレーション ・救急法実習 ・防災すごろく ・避難所「運営」シミュレーション ・サバイバルクッキング (電気ない・ガスない・水道出ない・食器を洗えない、さあ、あなたならどうする?!) 	<ul style="list-style-type: none"> ●取得可能な資格 ・ベーシックライフサポーター ・救急員 ・健康生活支援員 ・幼児安全法支援員 ・水上安全救助員 ・あいサポーター (障がい者サポーター) ・同メッセンジャー (研修を企画運営する立場) など
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・あいサポーター(障がい者サポーター)研修 ・手話研修 ・防災・身を守るワザバトル ・永井隆博士プロジェクト ・オリジナル梅ジャムラベル等作成 ・高文連青少年赤十字春季会 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域での活動は、感染症の状況をみながら、皆で判断していきます。
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・梅の収穫体験 ・梅ジャム調理・販売 ・福祉施設とのビデオレター撮影 ・永井隆博士ワークシート・スタンプラリーひらがな版の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ●全国高等学校総合文化祭 島根県代表 研究発表 (R5.8 鹿児島) ●全国ボランティアスピリットアワード
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・千羽鶴作成開始 ・EM善玉菌で防霉・防悪臭対策 ・永井隆博士ワークシート・スタンプラリーひらがな版の完成・配布 ・峯寺のアイデア看板設置・お披露目会 	<ul style="list-style-type: none"> ●救急法競技大会 など
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・全国総合文化祭(鹿児島) ・島根県JRCリーダーシップ研修 ・(文化祭)チャリティショップ募金 ・(〃)献血Q&A、啓発ステージ ・県リーダーシップ研修 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・救急法競技大会 ・献血の啓発 ・絵本などのリサイクル回収と寄贈 ・途上国への物資支援回収と寄贈 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・献血の実施・献血車見学ツアー (ライオンズクラブ・生徒会と連携) ・手話研修 ・小児がん患者へのタオル帽子作成 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・高文連青少年赤十字「研究発表」 ・高文連青少年赤十字ブロック研修会 	
12月 1月 2月 3月	(これ以降も、皆で話し合いながら決めていきます)	